愈京都府立海洋高等学校。



栽培環境コースだよりNo. 9 < シロザケ飼育>

栽培環境コースとマリンバイオ同好会は「サケのふるさと由良川守る会」主催のシロザケふ化・放流事業に「稚魚放流サポーター」として今年も参加し、ふ化から放流サイズまで大切に管理しました。1月7日に発眼卵を2000粒受け入れ、1年生が700粒、2年生が600粒、マリンバイオ同好会が700粒を管理しました。

【 1月 】 交代で朝、昼、夕に水温測定を行い、管理状況を記録。





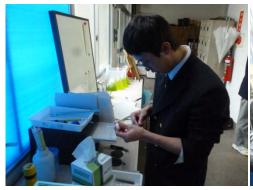


[7日 発眼卵入荷]

「 15日 孵化開始]

[水温測定·状態確認]

【 2月 】 ヨークサックの吸収終了。摂餌開始。

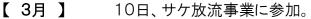






[朝の日直作業(登校直後)]

「 摂餌開始]









[1843尾を放流 (場所:福知山市 由良川 音無瀬橋下)]

順調に育てることができ、生残率は92.2%、やり遂げたという達成感を感じながら放流を行いました。ふ化から放流までの飼育管理を行ったことで、栽培環境コースとして貴重な体験ができました。

「飼育期間は長かったのに、放流は一瞬なんですね。」少しさびしそうな生徒もいました。